

「教育整備の財源に」

辞退の退職金で桜井市長

小矢部市

本会議を再開し、2氏が代表質問、6氏が一般質問を行った。桜井森夫市長は自身の退職金辞退により、県市町村総合事務組合から返還される約1355万円について「子どもの教育環境の整備の財源としたい」と述べた。

多田勲氏（新政友会）の代表質問に答えた。

恋人の聖地であるクロスランドおやべ付近に、チャペル型結婚式場を誘致しては、との提案に市側は「効率、採算性を考えると難しい」と答えた。白井中氏（新政友会）の一般

質問に答えた。

吉田康弘氏（新風会）が代表質問、嶋田幸恵（新政友会）、中田正樹（同）、義浦英昭（新風会）、藤本雅明（同）、砂田喜昭（共産）の各氏が一般質問した。主な答弁は次の通り。

▽第6次総合計画は

今年度、進行状況を検証し、情勢の変化に対応するため見直しを予定している。

【質問・吉田氏】

▽子ども医療費の助成拡大は、子育て支援策の有効な方策の一つであり、来年度予算編成の中で検討する。

【質問・嶋田氏、砂田氏】

▽有害獣のイノシシをまちづくりにかかす「イノシシ特区」は、先進例を調査したい。

【質問・義浦氏】

▽学校などで節約した光熱水費の半額を還元する「ファイファイ・ファイファイプロジェクト」は、導入の長短所を研究していきたい。

【質問・藤本氏】

▽学校統廃合に着手する基準は、複式学級

になっているかどうかである。その観点で小中学校の規模・校区は当面、現状で続く。

【質問・中田氏】